

| 1-1 建物概要 |                             | 1-2 外観 |                 |
|----------|-----------------------------|--------|-----------------|
| 建物名称     | (仮称)LOGI FLAG GOLD厚木 I 新築工事 | 階数     | 地上5F            |
| 建設地      | 厚木市飯山字下里見3108番71ほか5筆        | 構造     | S造              |
| 用途地域     | 工業地域、法22条区域                 | 平均居住人員 | 102 人           |
| 地域区分     | 6地域                         | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途     | 工場                          | 評価の段階  | 実施設計段階評価        |
| 竣工年      | 2024年7月 予定                  | 評価の実施日 | 2022年11月25日     |
| 敷地面積     | 6,987 m <sup>2</sup>        | 作成者    | 北野建設一級建築士事務所    |
| 建築面積     | 3,711 m <sup>2</sup>        | 確認日    | 2022年11月25日     |
| 延床面積     | 14,525 m <sup>2</sup>       | 確認者    | 北野建設一級建築士事務所    |



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

| 3 設計上の配慮事項                                |   |  |
|---|---|--|
| 総合  | その他   |  |
| 敷地内に積極的な緑化を行い、周辺環境へ配慮している。                |   |  |
| Q1 室内環境                                   | Q2 サービス性能<br>階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。 | Q3 室外環境(敷地内)<br>外灯の設置など防犯性に配慮している。     |
| LR1 エネルギー<br>LED照明を採用し、エネルギー消費量削減に配慮している。 | LR2 資源・マテリアル<br>OAフロアを採用するなど、部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。  | LR3 敷地外環境<br>燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される